



～特別支援教育の現状から～

「職員の「やる気」を引き出す学校経営

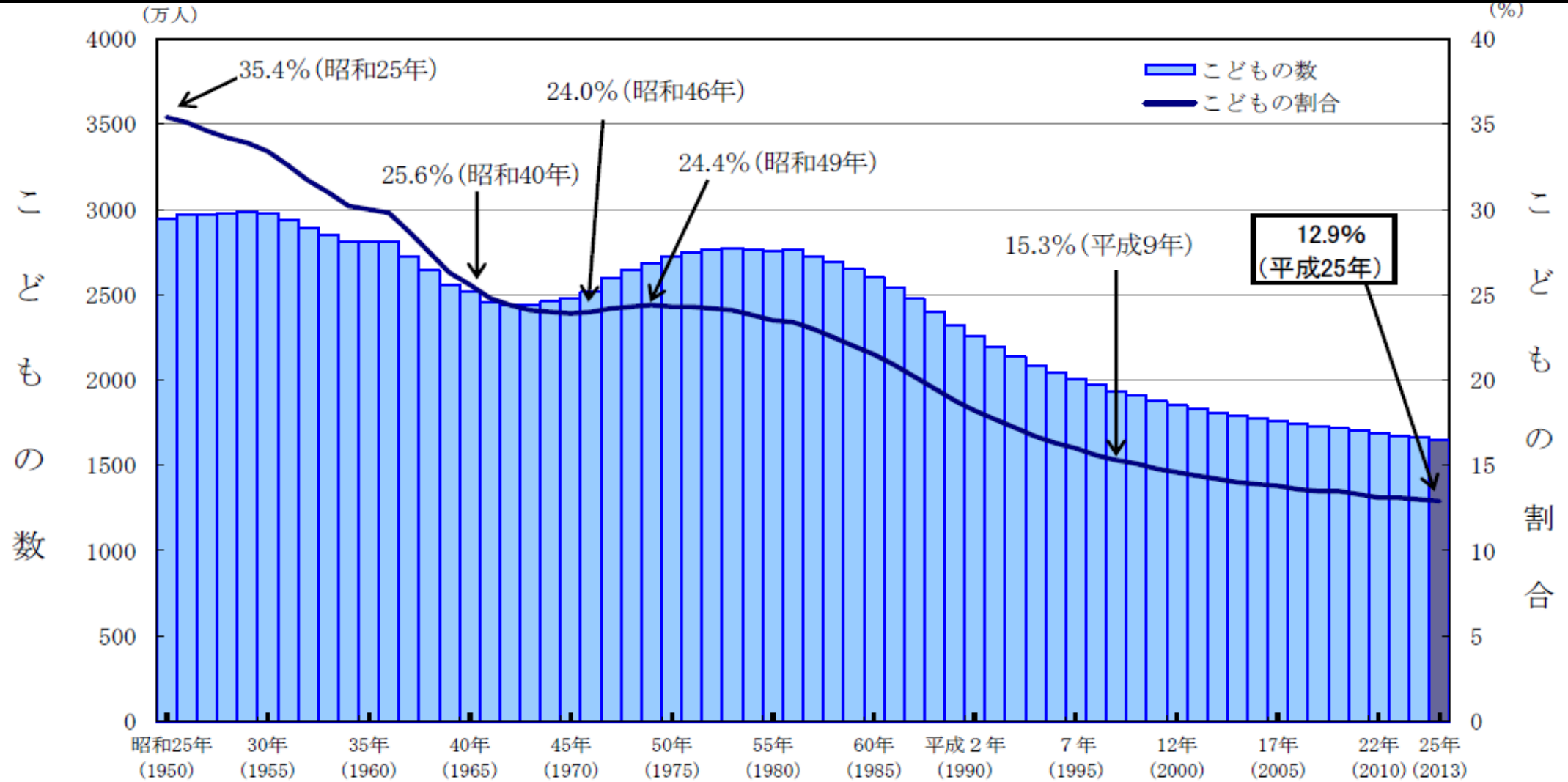


新潟大学 教育学部

有川 宏幸

arikawa@ed.niigata-u.ac.jp

子どもの数は減っている・・・

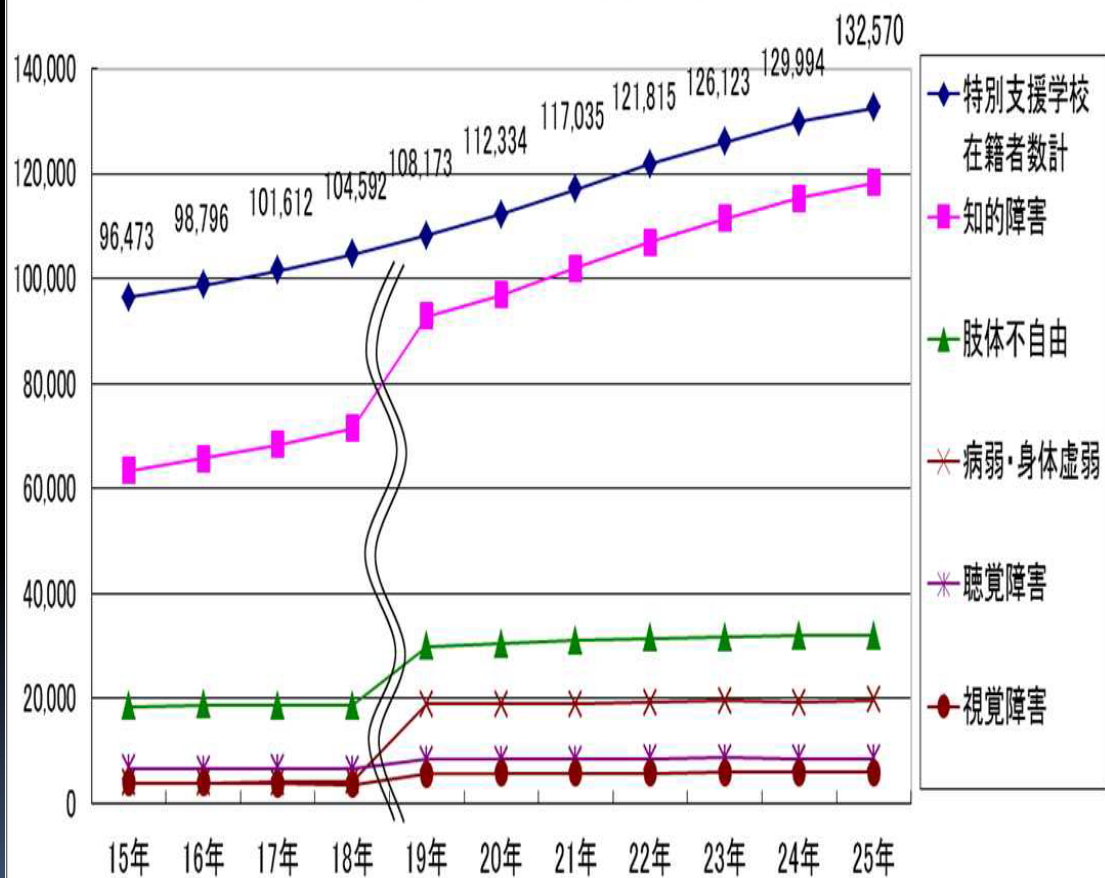


資料：「国勢調査」による人口及び「人口推計」による人口

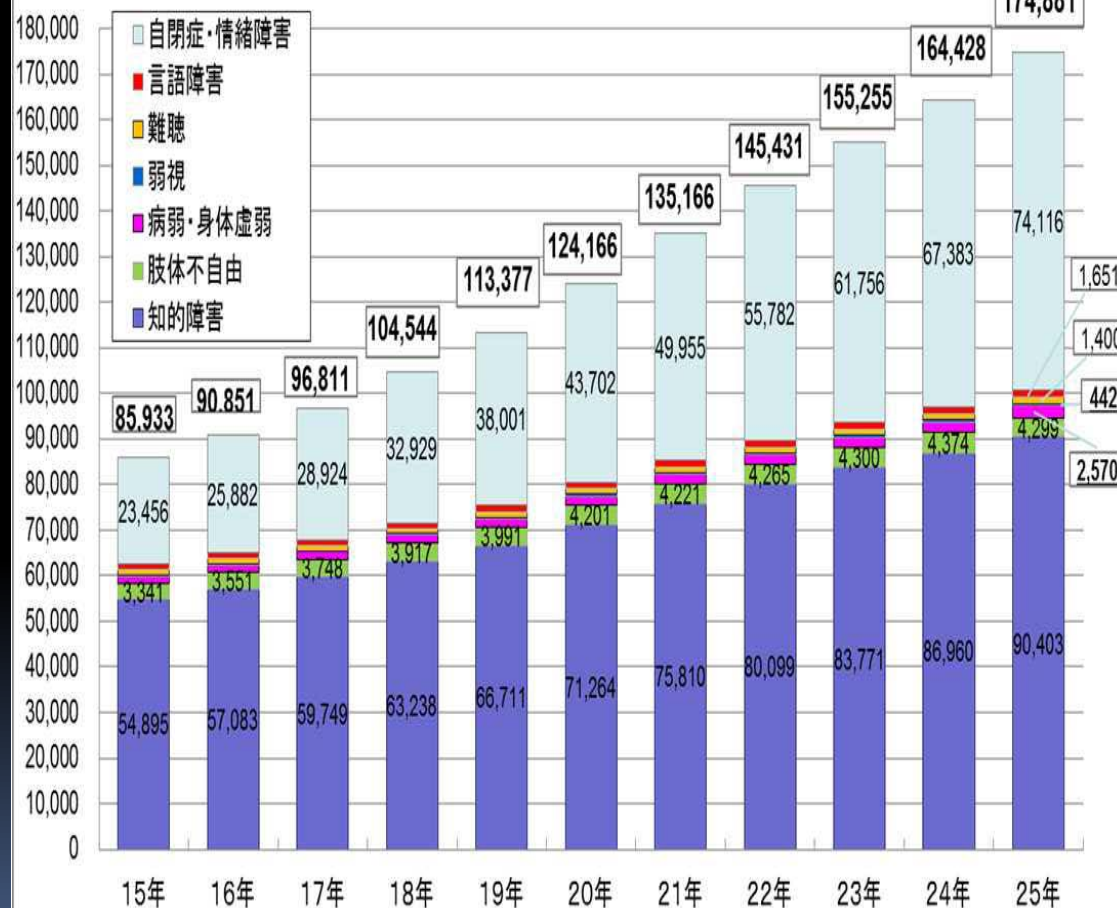
注) 平成24年及び25年は4月1日現在、その他は10月1日現在

特別支援学校、特別支援学級在籍児童生徒は 増えている！？

1. 特別支援学校(幼稚部・小学部・中学部・高等部)在籍者数の推移



3. 特別支援学級在籍者数の推移(公立小・中学校合計)



1. 特別支援教育の現状～特別支援教育の対象の概念図(義務教育段階)～

義務教育段階の全児童生徒数 1030万人



(※2を除く数値は平成25年5月1日現在)

一体、教育現場で何が起きている？

Discussion !

- 子どもの数は、減少している。
- 担任もしくは、特別支援教育コーディネーターによる回答では、通常学級に在籍している、発達障害の疑いのある児童生徒数は、6.3%(2002年)から、6.5%(2012年)と10年間で微増している。
- 通級指導教室、特別支援学級・特別支援学校在籍児童数は増加の一途を辿っている。

学校で、何が起きているのでしょうか？

「インクルーシブ教育システム」 (inclusive education system)

- 『障害者の権利に関する条約』第24条「教育」では
- 「人間の多様性の尊重等の強化すること」「障害者がその人格、才能及び創造力並びに精神的及び身体的な能力をその可能な最大限度まで発達させること」「障害者が自由な社会に効果的に参加することを可能とすること」
 - 障害を理由に障害者が「general education system」（公訳：「一般的な教育制度」）から排除されないこと、自己の生活する地域において包容され、質が高い初等中等教育を享受することができること、個人に必要な「合理的配慮」が提供されること」等が言われている。

ちなみに・・・特別支援学校は

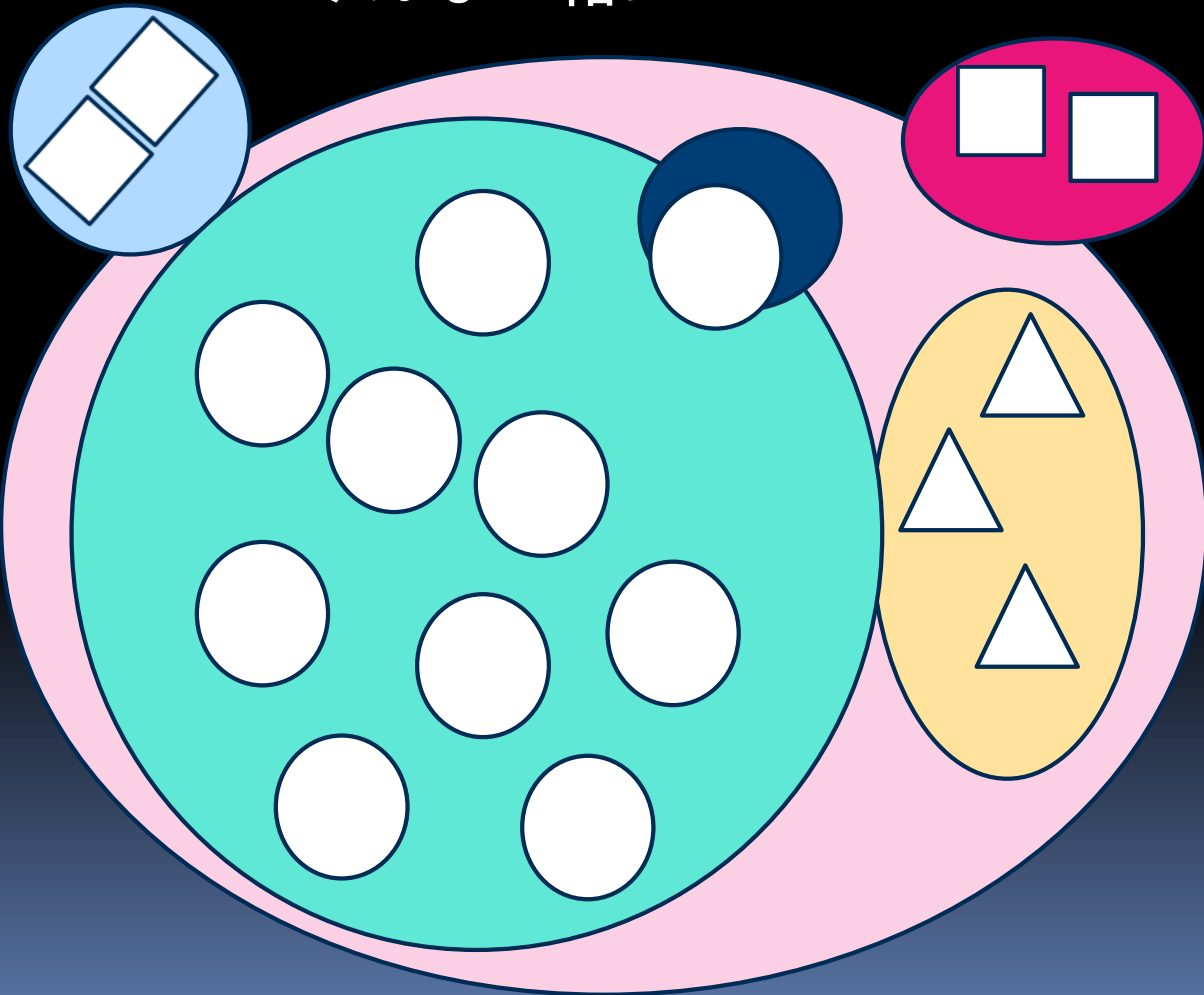
General Education Systemの解釈について

外務省は『条約第24条に規定する「general education system（教育制度一般）」の内容については、各国の教育行政により提供される公教育であること、また、特別支援学校等での教育も含まれるとの認識が条約の交渉過程において共有されていると理解している。したがって、「general education systemには特別支援学校が含まれると解される。』

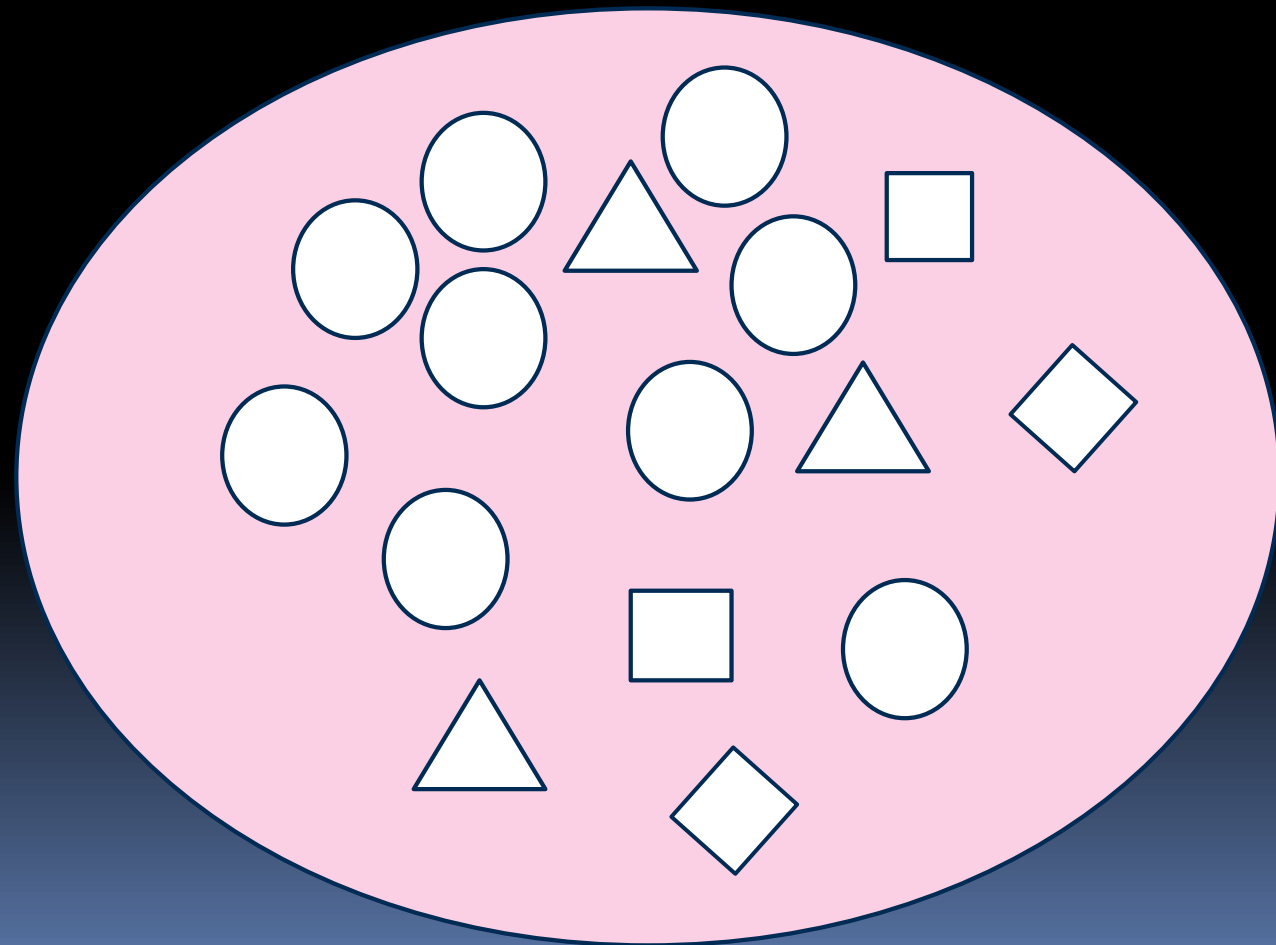
文科省(2010)特別支援教育の在り方に関する特別委員会（第5回）
配付資料より

インクルーシブ教育システムって?????

A : みんな一緒に



B : みんな一緒に





戦略のない共有資源の行く末

メタファーとしての「コモンズの悲劇」



コモンズの悲劇(Hardin, 1968)

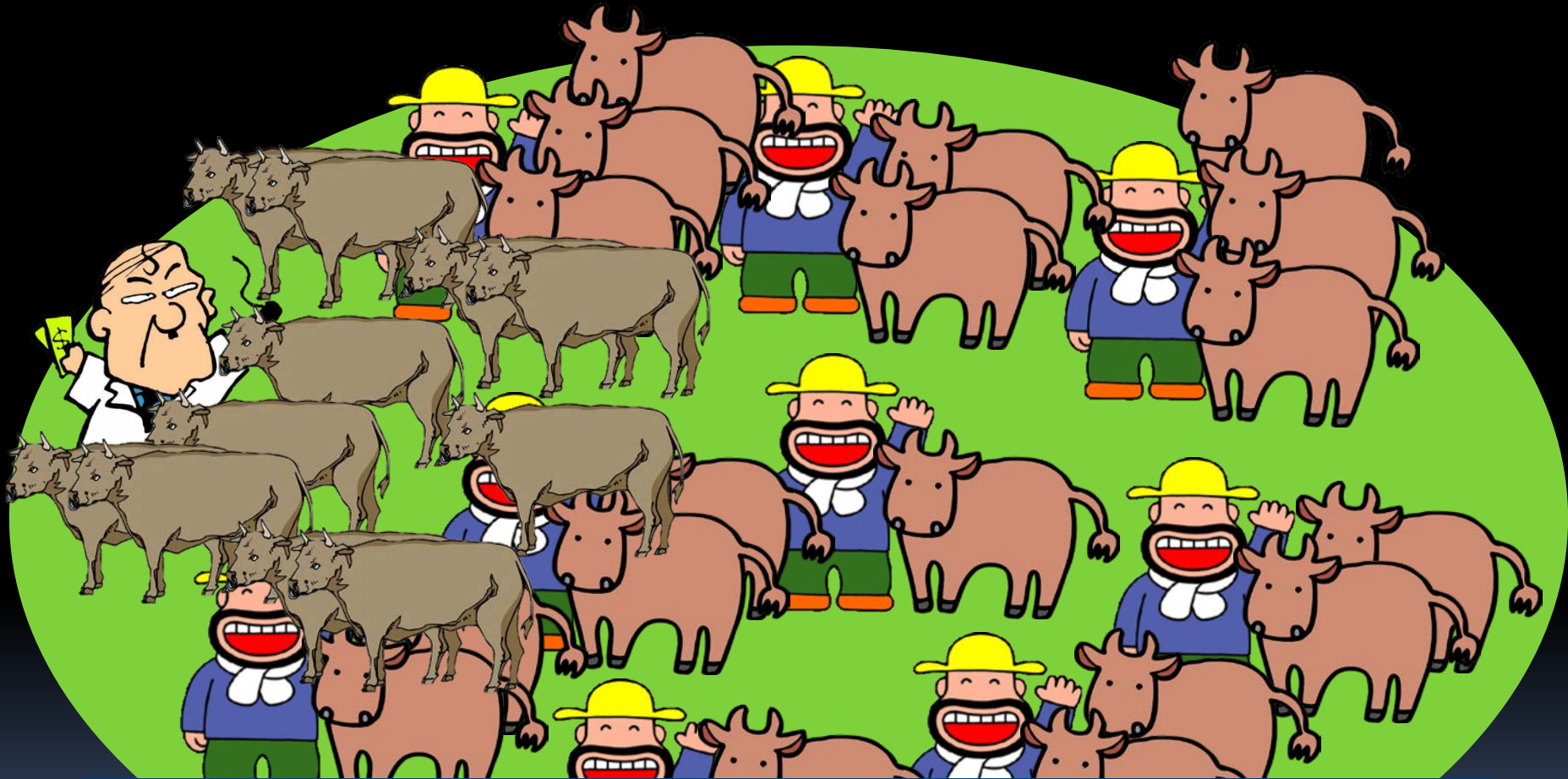


Garrett Hardin
(1915,4,21- 2003,9,14)
生物学者

地球資源は有限であり、人類の成長は地球規模の荒廃をもたらすと英国の「コモンズ(共有地)」の荒廃を例にあげ指摘した。

このモデルは、環境問題の議論の中でしばしば取り上げられたが、今日では様々な研究領域(経済学や心理学など)において議論されている。

コモンズ・・・それは、誰のものでもない、誰もが利用できる土地・・・



人間は、「少しばかりズルをする生き物」である。

どうしますか・・・

Discussion!

- コモンズを、失わないためには、どのようにすればよいですか？

となると・・・

- 本当に必要な人に、十分な支援や配慮ができないことや、あまり必要としていない人へ、過剰な支援や配慮が提供されることも出てきたりしませんか？



十分な配慮が出来ないと・・・もっと十分に対応してもらえるところで教育してもらった方がよいかと・・・

不合理な選択の結果は

- どの子どもにとっても「最善の利益を生む選択」をすべきところだが、なかなかそのようにはできていない。
- 結果的には「配慮」が、ただ均等に分配されることになりかねない。
- そうなれば、個に必要な配慮をするという本質自体揺らいでくると考えられ・・・。

本人・保護者と学校の間で大きな“ズレ”を生む可能性が起こるのは、ここだと考えます・・・。行政も学校経営も、こうした問題が根幹にあることを知ることも必要です。



ならば、どうする

「専門性」を向上する . . .



素朴な問いです・・・

プロ野球選手・・・彼らの専門性とは、何ですか？

ミュージシャン・・・彼らの専門性とは、何ですか？

では？

- 「教育」の専門性とは、何ですか？
- 「特別支援教育」の専門性とは、何ですか？

「専門」とは、理論を知り、それを専門家ではない人にわかるように説明できることです。プロと呼ばれる人達は、それを自分のパフォーマンスに活かしているのです。つまり、これが出来なければ専門家ではありません。

例えば専門性って・・・

特別支援学級担任、通級指導担当教員、特別支援教育コーディネーターに求められる専門性については、次のとおり整理した。

- ・ 特別支援教育全般に関する基礎的知識（制度的・社会的背景・動向等）
- ・ 障害種ごとの専門性として、担当する障害のある子どもの心理（発達を含む）や障害の生理・病理に関する一般的な知識・理解や教育課程、指導法に関する知識・理解及び実践的指導力
- ・ 小・中学校の特別支援教育コーディネーターについて、勤務する学校の特別支援教育を総合的にコーディネートするために必要な知識や技能

さて、皆さんの学校では・・・

- 文部科学省が言う、専門性のある職員・・・お一人でも思い浮かびましたか？
- 今の教育現場における、特別支援教育の実態は「特別支援教育コーディネーターを設置している」「校内支援会議を開催している」「特別支援学校教員免許状を持っている」という議論以前なのかもしれません。
- 「いや、私たちは特別支援教育の専門家ではないから・・・」という声も聞こえてきそうです。

確かに、それも一理あるかもしれません。つまり冒頭のデータの説明になるわけです。



「教育」の専門性を考える

まずは、「教育」の説明責任を果たせますか？



Discussion!

平等が意味するもの その1

「先生、うちの子、ごはん嫌いなんです。
パン持たせますので、給食はパンを食
べさせてください」



ざ・ふびょうどう



≠



なぜ、同じものを食べなければならないか、教育の専門家ではない保護者に対して説明できますか？

Discussion!

平等が意味するもの その2

「給食係さん、給食の量はみんなに
同じ量でよそってね」

「センセー、ア리카ワ君のご飯の量だ
け多いです!!」

「んっ…、ア리카ワくんはいいのよ」

ざ・ふびょうどう



さて、教育の専門家として、これで子
ども達は納得するのでしょうか?

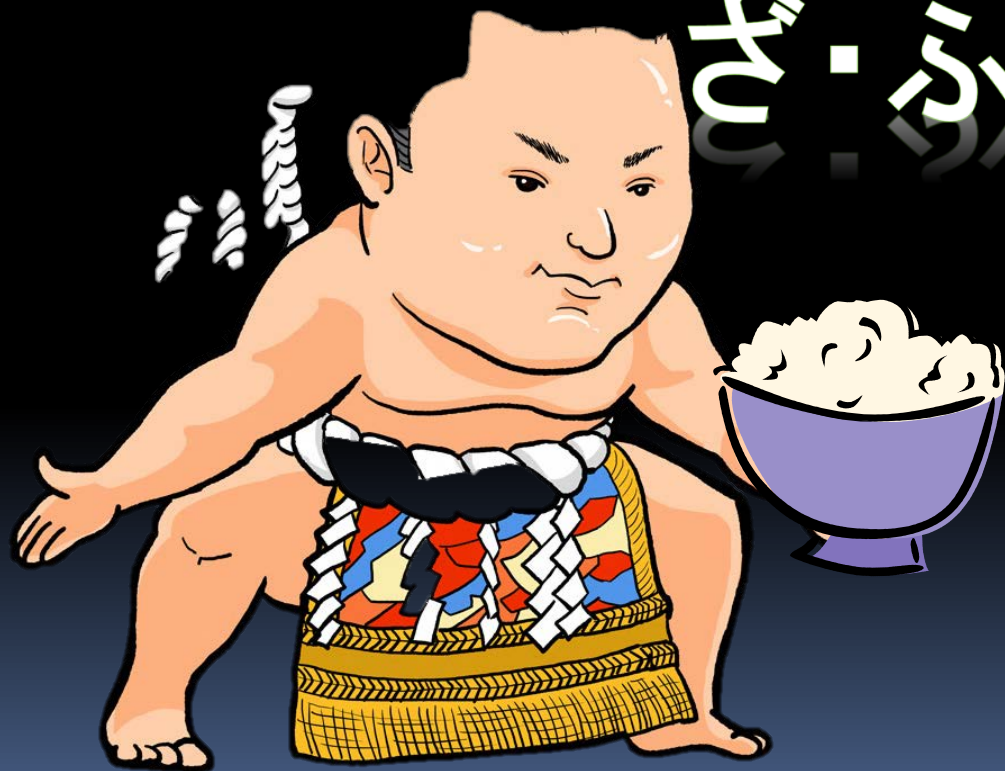
Discussion!

平等が意味するもの その3

「相撲部のハクホウくんだけ、ご飯の量が多いですが…」



ざ・ふびょうどう



>



説明責任を果たす

- 今は、「学校の先生が言うのだから・・・」などということ
はほとんど通りません。「教育」の専門家としての説明責任
が求められます。
- 説明責任は、専門家でない人達が納得いく説明が出来ること
です。身内に通用する話をするものではありません。
- さて、皆さんの学校では、どのくらいの教員が、「なぜ、そ
の実践をしているのですか?」との問いに、説明責任が果たせ
ますか?
- 「毎年やっているから」「指導書に書いてあったか
ら」・・・こういう説明が出てくるとなると、考えものです。

専門性を高めるのは、みなさんの「問い」か
ら始まるのかもしれないね。



おわりに

夢を語れる教育現場に



有川研究室

E-Mail : arikawa@ed.niigata-u.ac.jp

Twitter: <https://twitter.com/aripiyon>

Facebook : <https://www.facebook.com/arikawa.hiroyuki>

HP: <http://arichannel.jp/>

本日使用したパウポのPDFを、1週間
だけホームページの「研修資料」
[http://arichannel.jp/research-
program/lecture-meeting/](http://arichannel.jp/research-program/lecture-meeting/)
にアップしておきます。ダウン
ロードは自由です。



研究室公認ゆるキャラ「あり犬」